

第22回 ときめき・感動・くらしに文化

# やまなし 県民文化祭

— 2023 記録集 —

# やまなし県民文化祭

題字 杉本 薫香



吉田 光雄 〈リュートを弾く女〉

## Contents

- 1 ごあいさつ
- 2 **I 総合フェスティバル**
  - 展示部門
  - 3 舞台部門
- 4 **II 部門別フェスティバル**
  - 5 美術部門・書道部門
  - 6 写真部門・ハンドクラフト部門
  - 7 華道部門・日本舞踊部門
  - 8 文学部門・茶道部門
  - 9 音楽部門・合唱部門
  - 10 邦楽部門・民謡民舞部門
  - 11 太鼓部門・洋舞部門
  - 12 吟剣詩舞部門・朗読部門
  - 13 吹奏楽部門・演劇部門
- 14 **III 体験型事業**
  - 朗読部門・文学部門
  - 15 太鼓部門・華道部門
  - 16 ハンドクラフト部門・写真部門
  - 17 茶道部門・フラワーデザイン部門
- 18 部門別フェスティバル受賞者一覧  
協賛事業一覧
- 19 資料
  - やまなし県民文化祭開催要綱
  - やまなし県民文化祭協賛事業実施要項
- 20 第22回やまなし県民文化祭実行委員  
やまなし県民文化祭実行委員会規約
- 21 第22回やまなし県民文化祭運営委員  
やまなし県民文化祭運営委員会規約  
やまなし県民文化祭実行委員会事務局
- 22 第22回やまなし県民文化祭部門別フェスティバル 専門委員



山梨県知事  
長崎 幸太郎

## ごあいさつ

第22回やまなし県民文化祭が、関係者の皆様の御支援と御協力のもと、多くの県民の皆様に御参加いただき、成功裏に終了いたしました。

運営に携わっていただきました実行委員の皆様をはじめ、関係各位の御尽力に心から感謝申し上げますとともに、御参加いただきました多くの県民の皆様に厚くお礼申し上げます。

今回は、実に4年ぶりに、コロナ禍に伴う諸々の制限がない中での開催となり、様々な部門のアーティストやクリエイターの皆様による躍動感に満ちた舞台発表や創造性溢れる作品展示が、県内各地で行われていました。

文化芸術活動の発表の機会であるとともに、県民の皆様が様々なジャンルの文化芸術を体験する機会でもある「やまなし県民文化祭」に、コロナ前のような活気が戻ってきたことは大変喜ばしく、とても感慨深いものがあります。

特に、総合フェスティバルの舞台部門においては、世界文化遺産登録10周年を迎えた「富士山」をテーマとして、各分野において山梨を代表する皆様による舞台公演が行われました。

記念すべき10周年に花を添えるとともに、「信仰の対象」及び「芸術の源泉」としての富士山の普遍的価値を我々に再認識させる大変素晴らしい舞台でありました。

文化芸術活動は、県民の心に安らぎと豊かさをもたらすばかりでなく、人々の交流を生み出し、地域の賑わいの創出にもつながるものであります。県といたしましても、日常において文化や芸術を楽しむよう、県民参画による文化芸術活動をより一層促進して参ります。

結びに、文化芸術活動に携わる県民の皆様の御健勝と御活躍を心よりお祈り申し上げ、あいさついたします。



やまなし県民文化祭  
実行委員会会長  
野口 英一

## ごあいさつ

第22回やまなし県民文化祭が、皆様の熱心な御協力に支えられ、盛大に開催できましたことに深く感謝申し上げます。

本年度の県民文化祭では、部門別フェスティバル、総合フェスティバル、協賛事業が県内各地で開催されました。

部門別フェスティバルでは、19部門それぞれが力を尽くし、舞台発表や作品展示、体験イベントを通じて、県民の皆様に多彩な文化体験を提供することができました。

総合フェスティバルでは、展示部門において、美術・書道・華道・写真・フラワーデザイン・ハンドクラフトの作品が一堂に展示され、県内代表作家の洗練された作品による「美の競演」を、多くの観覧者にお楽しみいただきました。舞台部門においては、洋舞・吟剣詩舞・朗読・民謡民舞・太鼓の5部門が、世界文化遺産登録10周年を迎えた富士山をテーマに、それぞれの特徴を活かしながら、ジャンルを超えてコラボレーションした舞台公演を行いました。

協賛事業も、年間を通じて数多く開催されました。県民文化祭の趣旨に沿い、協同して山梨県の文化芸術を盛り上げてくださる方々による事業が、県内各地で活発に展開されていることを、大変嬉しく思います。

さて近年、文化芸術そのものの価値を尊重し、振興することにとどまらず、文化芸術によって生み出される価値を、観光・福祉・教育といった他の様々な分野にも活かしていくことが求められています。そのためには、普段から文化芸術活動に取り組みされる皆様が、引き続き専門分野の活動に邁進されることに加え、文化芸術の良さを周囲の様々な方へ伝えることで、その魅力を多様な分野へ発信していくことが重要と考えます。

実行委員会といたしましても、今後も県民文化祭が多くの皆様に文化芸術の素晴らしさを伝え、山梨県の文化芸術の発展に貢献できるよう、努力して参ります。

結びに、関係者の皆様の御尽力に改めて敬意を表しますとともに、今後も山梨県の文化芸術振興のため一層のお力添えをお願いし、挨拶いたします。



# ① 総合フェスティバル

## 展示部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭総合フェスティバル展示部門
開催日	令和6年1月17日(水)10時～令和6年1月21日(日)16時まで
場所	山梨県立図書館イベントスペース
入場者数	1077名
参加者数	出品者数:93名 作品点数:93点

本年度も、山梨県立図書館イベントスペースにて、「やまなし 美の競演」をテーマに、美術・書道・写真・華道・フラワーデザイン・ハンドクラフトの6部門の代表作家による、ジャンルを超えたコラボレーション展示を開催しました。昨年度の来場者数を上回る多くのお客様に足を運んでいただき、来場者アンケートでは、「いろいろな表現に出会えてとても楽しい。」「どの作品にも心がこもっている。」「展示形式がオープンに明るい雰囲気が良い。」等々、沢山のご好評と継続を期待する声を頂くことが出来ました。





# 舞台部門



「フィナーレ」(全員)

事業名	第22回やまなし県民文化祭総合フェスティバル舞台部門「富士山」
開催日	令和6年2月25日(日) 13時30分開場、14時開演
場所	YCC県民文化ホール 小ホール
入場者数	424名
参加者数	出演者数:77名 観覧者数:424名

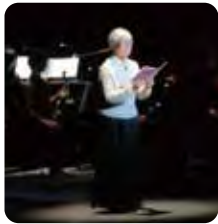
総合フェスティバルの舞台公演は、世界文化遺産登録10周年を記念し、「富士山」をテーマに、様々なジャンルの長をを生かしながら、3つの演目に分かれて公演いたしました。

ゴスペルとコンテンポラリーダンスがコラボレーションし、富士山の美しさ、力強さを表現した「ともに...」

富士山に関する5曲を吟詠及び剣詩舞により表現した「麗しき霊峰富士を詠う」

神話をテーマに県内の演奏家や舞踊家を中心とした創作舞台「コノハナサクヤヒメ」

それぞれの魅力を存分に発揮し、互いに高め合い、総合フェスティバルとして結実した舞台は、多くの方にご来場いただき、感動を与えました。フィナーレでは、本公演の演奏家たちによる演奏で、「富士山」を来場者とともに合唱しながら、出演者や専門委員が舞台上に集まり、会場全体が大きな拍手で包まれました。



「コノハナサクヤヒメ」(朗読部門)



「コノハナサクヤヒメ」(洋舞部門ほか)



「コノハナサクヤヒメ」(民謡民舞部門・太鼓部門ほか)



「麗しき霊峰富士を詠う」(吟剣詩舞部門ほか)



「ともに...」(洋舞部門・ゴスペル)



## Ⅱ 部門別フェスティバル

美術展・書道展・写真展より



写真部門 県民文化祭賞 野中光征「顔」(カラー写真の部)



書道部門 県民文化祭賞  
伊藤雅一「李太白詩」  
(漢字)



書道部門 準県民文化祭賞  
宮川翠香「李賀詩」  
(漢字)



写真部門 準県民文化祭賞  
新津富也「夢想鳥」(ネイチャー写真の部)

美術部門 県民文化祭賞  
佐々田明子「八月のスピネル」  
(工芸)





## 美術部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭美術展
開催日	令和5年10月28日(土) 9時～ 令和5年11月3日(金・祝) 17時
場所	山梨県立美術館県民ギャラリーA・B・C室
入場者数	1072名
参加者数	出展者数:179名 応募者数:119名 作品点数:192点

美術部門では、「くらしに文化が根付くやまなし」実現を基本理念として、山梨の文化活動推進のため幅広く活動してきた。

公募展は、経験豊かな世代と若い世代の研鑽の場になっていると言っても過言ではないと思っている。作品種別を多く設け、県内最大の魅力ある美術展として山梨県芸術祭を継承し、県民文化祭は今回で22回目を迎えた。コロナウイルス感染症が5類に移行して日常が戻りつつある中で出品者も多く、盛況のうちに終えることができ、見応えのある展覧会となったと考えている。特に今回は、今までにない新鮮さを感じられ、切り絵や染色、レリーフなどバラエティーに富んでおり、時間をかけて丹念に作り込んだ作品が多く、意欲作が目立った。

今後も、展覧会の充実と作品の質の向上を目指し、専門委員一丸となって誇れる作品展にしていきたいと考えている。



## 書道部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭書道展
開催日	令和5年11月5日(日) 9時～ 令和5年11月10日(金) 15時
場所	山梨県立美術館県民ギャラリーA・B・C室
入場者数	906名
参加者数	応募者数:278名 作品点数:338点

令和5年11月4日、中央書壇より毎日書道会評議員、朝聞書会理事長の鈴木響泉先生を山梨県立美術館にお招きし、第22回やまなし県民文化祭書道展の審査が行われた。

山梨県の書道を愛好する方々の熱き思いを込めた今回展の応募点数は漢字・一字書・調和体・かな・篆刻・刻字に278点。その中より入賞者26点が選出。委嘱出品60点と合わせ、県民ギャラリーA・B・Cを使用し338点の展覧となった。

審査総評として「作品様式が多岐にわたり総じてレベルが高く驚いた。これは日々の研鑽の賜である。難しい審査であったが、楽しませてもらった」と。また、やまなし県民文化祭賞の伊藤雅一さんの篆書作品は「力のある線で一貫し、実に充実している。金文の造形にも一体感があり、また、所々の渴筆が効果的に働き変化を演出している。最高賞に相応しい群を抜いた作品」と評した。

コロナ禍のため、好評を得つつも中止が続いていたギャラリートークは4年ぶりに再開。多くの書道愛好家が訪れた。委嘱作家を展覧したギャラリーCは、作家それぞれの個性と表現がせめぎあう見応え十分な空間であった。



## 写真部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭写真展
開催日	令和5年11月12日(日)～11月19日(日) 9時～17時 (13日は休館日、初日は13時～最終日は15時まで)
場所	山梨県立美術館県民ギャラリーA・B室
入場者数	895名
参加者数	応募者数:176名 応募点数:682点

第22回やまなし県民文化祭写真部門の作品募集は、8月31日締切にて行いました。本年は新型コロナウイルスも5類移行となりましたが、感染防止には留意しながらの事業でした。応募作品数では昨年より77点多い682点の応募があり、応募者数も176名と若干増加となりました。内訳では小中高生が、応募者・応募点数共に一般を上回りました。本年度の作品審査は、山中湖写真ギャラリーの写真家・冨塚晴夫氏を審査員に迎え9月19日(火)厳正なる審査会を実施し、やまなし県民文化祭賞にはカラー写真の部から3枚組写真「顔」野中光征氏(南アルプス市)が選ばれました。また、本年も準県民文化祭賞も選出され、ネイチャー写真の部から「夢想鳥」新津富也氏(甲斐市)が選ばれました。山梨県立美術館には、入賞作品全作品を、小中高生については応募者全員の優良作品を展示致しました。



応募点数	モノクロ写真の部	89点	出品者数	176名
	カラー写真の部	167点	入場者数	895名
	ネイチャー写真の部	159点		
	小中高生の部	267点		
	合計	682点		

## ハンドクラフト部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭ハンドクラフト展
開催日	令和5年11月14日(火)～11月19日(日) 9時～17時 (最終日は15時まで)
場所	山梨県立美術館県民ギャラリーC室
入場者数	987名
参加者数	応募作品数:61点 出展作品点数:73点(専門委員12名の作品12点を含む)

手工芸作品の魅力をいきいきと伝える場、「やまなし県民文化祭ハンドクラフト展」が県立美術館県民ギャラリーで開催されました。一般公募の入賞・入選作と、県ハンドクラフト協会の会員12名の作品計73点を展示しました。押し花絵、籐工芸、革工芸、創作人形、アートニット、ステンドグラス、パッチワークなど、素材や技法もさまざまなクラフト作品が並び、来場者の興味を引いていました。今回から新しい分野の会員が増え、多くの種類の作品が並び、大盛況でした。また、来場者の方からは、「楽しみにしてきました」「創得意欲がわきました」などの声を聞き、「来年は公募してみようかな」と男性が声をかけてくれました。期間中のポーセラーツ体験教室も大盛況で、楽しく思い思いの作品を作り充実した時間を過ごすことができました。多くの方々に手工芸作品作りに興味をもっていただき、精力的に活動し、ハンドクラフト部門の発展に協力し、作品の向上を目指し、会員一同精進していきたいと思っております。





## 華道部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭 華道展
開催日	令和5年10月12日(木)～10月17日(火) 10時～18時30分 前期:令和5年10月12日(木)～10月14日(土)〈14日は15時終了〉 後期:令和5年10月15日(日)～10月17日(火)〈17日は15時終了〉
場所	山梨県防災新館 オープンスクエア全面
入場者数	782名
参加者数	出瓶流派:14流派 出瓶者数:68名 作品点数:68点

第22回やまなし県民文化祭部門別華道展は、県内14流派が、会員作品を前期・後期に分けて通期展示の代表者作品と展示しました。各流派特長を活かした作品でした。

会場設営・いけこみ・毎日の手入れ・展示摘花まで出瓶者協力のもとスムーズに運営できました。新役員主導で滞りなくできたことには、引継ぎの大切さも感じました。

来場者のアンケートでは「毎年楽しみにしている」「BGMの流れる中素敵な秋を感じられた」「花の美しさに感動した」等々嬉しい声を頂きました。また、「もっと多くの県民に見てもらえるよう工夫が必要と思う」との次回開催に向けての貴重な意見もありました。

本年度の実施状況を踏まえ、今後は県の担当部署との連携を強め、どのように伝えればより多くの方楽しんでいただけるかなど知恵を出し合い、華道部門のさらなる活性化に力を尽くして参ります。



## 日舞部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭日本舞踊公演
開催日	令和5年10月22日(日) 13時～18時
場所	YCC県民文化ホール 小ホール
入場者数	600名
参加者数	参加流派 花柳流 出演者数 23名

今回、日舞部門としては活動が無かった中、花柳鶯香社中と甲信支部の方を賛助出演という形で開催となりました。本格的な日本舞踊を会場で生のものを県内の多くの人に、又若い世代の方に見て興味を持っていただきたい、この二つの目的を使命として活動を続けております。今回一つの社中としての公演でしたので、すべての物価が値上がりしている中、スタッフの交渉は大変でした。本格的衣装付けの会の一番ネックは出演料ですが6年前とほぼ同額に成功しました。会場は満席、初舞台の方の緊張感、十代の方の美しさ、熟練の賛助、卓越された特別出演の輔太郎先生、各々の演目が充実して、観客の方からは沢山の拍手、無料では勿体ないのお声、お見送り折には多くのお褒めの言葉をいただき好評でした。これからも創意工夫をして魅力のある、「私も始めてみたい」と入部が多くなるように、尽力をしていきます。



## 文学部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭 文学部門 文学作品公募
開催日	表彰式 令和6年2月24日
場所	県庁防災新館1階オープンスクエア
参加者数	応募者数:161名 応募作品数:197作品

第22回やまなし県民文化祭文学部門の作品募集は、公募要項配布の上、小説・児童文学・エッセイ・詩・短歌・俳句・川柳の7種目で161名の方々から197作品が寄せられました。コロナ禍の減少からわずかの増加がみられてこれからの希望が見えた気がします。

体験型事業では、本年度はエッセイ部門でワークショップ「あなたもエッセイを書いてみよう」が9月23日(土)甲府市総合市民会館で開催され、作家、都築隆広氏、劇作家、水木亮氏の指導で37名の方々が実際にエッセイを仕上げそれぞれの講評を受け、好評だったようです。今年は児童文学ですが、大勢の方の参加を希望します。



## 茶道部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭茶道部門 大茶会
開催日	令和5年10月9日(月・祝) 10時~15時
場所	びゅあ総合 全室
参加者数	参加団体数5団体 参加者数1310名

茶道部門ではコロナ対策を万全にすることを念頭におき、久方ぶりのびゅあ総合で大茶会をしました。茶券販売を縮小し入席制限等しっかり検討を重ね、また各関係者の協力を得ながらようやく開催の運びとなりました。当日午前は雨天でしたが各流派の趣向を凝らした茶席に多くの方が入れ賑わいと笑顔に溢れていました。文化財課でアンケートを実施してくださりありがたかったです。「いろんな流派のお茶を楽しめた」「入場制限の為ゆったりしていた」「待ち時間が減らせたうれしい」等貴重な意見が多数寄せられ、大変参考になり、次回に反映して参ります。

来年度は煎茶道が二流派となり六流派の大茶会となります。びゅあ総合全館を有効に活用し、お客様の動線を考慮した茶席づくりを催したいと思えます。

茶道部門のさらなる活性化に尽力していきたいと思えます。





## 音楽部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭 音楽祭
開催日・開催場所	9月17日(日) 12時30分開場、13時開演 YCC県民文化ホール・小ホール プレオーディション(ピアノのみ) 8月6日(日) 南アルプス市カナリアホール オーディション 8月20日(日) YCC県民文化ホール 小ホール
参加者数	参加者数 応募者総数 36名 ・プレオーディション(ピアノのみ) 26名 ・オーディション 29名(プレ合格者19名を含む) ・音楽祭 第1部出演者 15名 第2部出演者 1名
入場者数	約350名

昨年同様、参加者数はコロナ以前に比べて少なかったものの、参加された皆さんの演奏水準は高く、充実した音楽祭になりました。当日券もたくさん売れました。

今回は音楽祭をコンクール形式からコンサート形式に変えてから2回目の開催でした。しかし早くも参加者や音楽部門専門委員の中からコンクール形式の復活を望む声もあり、長年コンサート形式を望んでいた私、専門委員長の小石晋としては複雑な心境です。次回からは音楽祭においてもピアノ、声楽、弦楽器、管打楽器ごとに優秀者を表彰することになりそうです。いずれにしても、これからも多くの参加者により優れた演奏水準を目指して、音楽祭を運営していきたいと考えています。

またこの音楽祭の大きな特長である第2部の特別演奏では、本県出身のピアニスト齊藤一也さんに素晴らしい演奏を披露していただきました。



## 合唱部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭合唱フェスティバル2023
開催日	令和5年8月26日(土)・27日(日)
場所	YCC県民文化ホール 大ホール
入場者数	約200名
参加者数	出演団体数14団体、出演者数176人

コロナ禍を経て、ようやく合唱を楽しむことができる時がやってきました。今年度は8月26日(土)、27日(日)の二日間にわたり、YCC県民文化ホール大ホールで合唱フェスティバル(山梨県合唱連盟主催、合唱コンクールと同時開催)を実施いたしました。

YCC文化ホールの大きなステージには14団体の歌唱されるみなさまの輝かしい笑顔と、美しい響きが溢れました。客席には久しぶりにご家族や出演された方が着席されて各団体の歌声を味わい、暖かいまなざしと拍手がホールを包みました。

コロナ禍の数年は合唱をされるみなさんにとって苦しい時間でした。この期間に合唱を離れてしまった方もいらっしゃると思います。これからも感染症との関わり方を学び、合唱の楽しさ、合唱を通しての学び、そして人と人との交流を深めることのできるフェスティバルとなるように工夫していきたいと思えます。



## 邦楽部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭邦楽部門 公演会
開催日	令和5年10月15日(日) 11時30分～15時30分
場所	YCC県民文化ホール 小ホール
入場者数	350名
参加者数	出演団体数:17団体 出演者数:89名

令和5年7月から、邦楽部門公演会出演者の公募を始めたが、高齢化社会になって、愛好家が減少し、伝統の古典邦楽をつなぐのが大変な時代になった。特に日本の伝統邦楽は学校教育に取り入れられていないこと、若い人達の“日本文化”はなれが著しく、今後の課題かと思う。

そこで、今回は若人・高校箏曲部にも参加を呼びかけ、結果、昭和高校箏曲部の出演を得た。このことは将来への希望となった。“伝統邦楽”を次世代につなげる、これは携わる人々の不断的努力と熱意がなければ断えてしまうことになるだろう。地道な努力と感性の熟成しか道はない。薄っぺらな和風テイストに落ち込まないよう精進が求められる。幸に今回は、長唄2曲、尺八本曲3曲、新曲7曲、古典5曲と多彩な演目で、メリハリの利いた演奏会となり、聴衆の皆様にも大変よろこんでいただいた。



## 民謡民舞部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭 民謡民舞フェスティバル
開催日	令和5年10月1日(日) 13時～15時
場所	YCC県民文化ホール 小ホール
入場者数	400名
参加者数	出演団体数:12団体 出演者数:約170名

令和5年10月1日第22回やまなし県民文化祭民謡民舞フェスティバルを開催いたしました。多くのお客様に御来場いただき大変賑やかな舞台となりました。本年度は、第一部と第四部で「全国の唄と踊り」を、第二部で「未来に羽ばたく子供たち」を、第三部で「唄おう 踊ろう 楽しい音頭」を、第五部で「甲州よっちゃばれ踊り」をと盛りだくさんの内容でお送りいたしました。「全国の唄と踊り」は、本公演の定番の演目です。会員達の技が光る一幕となりました。第二部の「未来に羽ばたく子供たち」では、例年より多い団体にご参加いただき民謡の裾野の広がりを感じさせてくれる内容となりました。第三部では、コロナ禍により休止していた踊りと演奏の共演を再び開催することができ、会員一同民謡の楽しさを改めて実感することが出来ました。そして、フィナーレの「甲州よっちゃばれ踊り」の復活。会員たちが待ち望んだ本公演の目玉企画です。会員総出演、舞台一杯にご披露出来たことは何より喜ばしいことです。一方で、年々会員数が減少していることが我々の課題です。来年度はプロの講師を招き、唄や演奏、踊りと民謡民舞部門をあげて若手の人材育成に力を入れていく所存です。

本年度も大変、お世話になりました。ありがとうございました。





## 太鼓部門

事業名 第22回やまなし県民文化祭 太鼓部門公演会

開催日 令和5年11月19日(日) 12時30分～17時

場所 YCC県民文化ホール 小ホール

入場者数 413名

参加者数 出演団体数:8団体 出演者数:166名

第22回やまなし県民文化祭太鼓部門公演は、令和5年11月19日(日)県民文化ホール・小ホールにて開催されました。今回は、新型コロナウイルス感染症も5類に移行したとはいえ計画段階では、感染症対策にも配慮し昨年に引き続き入場者を500名に限定し、出演者の控室もリハーサル室、練習室を借り足して予想される感染症対策を打ち当日を迎えました。公演当日の入場者の検温やアルコール消毒、チケットの氏名、住所の裏書は実施せず、客席間の間隔も通常に戻して開催されました。出演団体は、昨年度と同様、韮崎工業高校太鼓部、ワークショップ特別チームを加えた8団体の参加を得、入場者数も413名にのぼり県民の皆様は日本の伝統文化である和太鼓の重低音の響きを楽しんでいただき日本太鼓の魅力を伝えられたと感じています。また、来年度のワークショップへの参加の問い合わせもあり伝統文化継承の担い手を育成していく継続的な取り組みが必要と感じています。



## 洋舞部門

事業名 第22回やまなし県民文化祭 洋舞部門公演会

開催日 令和5年12月26日(火) 18時～20時10分

場所 YCC県民文化ホール 小ホール

入場者数 650名

参加者数 出演団体数:3団体 出演者数:約80名

2023年を締めくくる12月26日に、クリスマスに相応しい「くるみ割り人形」全幕公演を実施いたしました。

今年度は文化庁アートキャラバン事業の補助金を活用しながら、今までの文化祭では初めてとなる文化協会所属のスタジオ共働での公演が可能となり、プリンシパルにはバレエ協会甲信越支部で共に活動する長野・新潟のダンサーを迎え、山梨のダンサーや子供たちと共に踊る機会となりました。

少子化の波は私たち部門にも着実に押し寄せ、生徒の減少は歯止めがききません。このような機会を通じて、未来の山梨をリードしていく人材育成となり、また、豊かな地方都市「山梨」として成長する第一歩となったと感じております。

今後は、行政の文化に対する理解を更に増して下さることを期待しています。



## 吟剣詩舞部門

事業名	吟剣詩舞道大会
開催日	令和5年12月3日(日) 12時30分～16時
場所	山梨県立文学館 講堂
入場者数	216名
参加者数	出演者数:176名

県内の漢詩・和歌・吟詠・剣詩舞の伝統芸能を愛する県民に広く参加を呼びかけ、21団体が一年間の研鑽の成果を発表し合い、健康の喜び、親睦・交流をはかりました。

次代を担う若者は部活や試験勉強のため不参加が多く、今大会での「こども番組」は見送られ、残念でした。オープニングは、富士山世界文化遺産登録十周年記念を祝すと題して、県総連による「富嶽」を合吟・和歌・舞を発表、開会では21参加団体の紹介入場の中で、「君が代」を声高らかに斉唱した。

第一部 流会派の発表「詩歌を愛す」その1では吟詠発表、構成吟「石川啄木」の発表がありました。

第二部 特別番組では、第21回総合フェスティバル「舞台系」参加作品「甲斐の国を詠う」を山梨の文化に思いを込めて、吟詠・剣舞・詩舞で発表し、講評を受けました。

第三部 流会派の発表「詩歌を愛す」その2では、県総連による春日居村出身の「聖医小川正子」のハンセン病撲滅に身を挺し、41才の若さで永眠するまでの綴った短歌を構成吟詠詩舞の発表があり、会場は静まりかえった。正子の母校である甲府西高等学校の校庭に顕彰碑が建立されています。

閉会セレモニーは、文部省唱歌「富士の山」を即興ダンスを交え、笑顔で大合唱、再会を期して終幕となりました。



## 朗読部門

事業名	朗読フェスティバル
開催日	令和5年11月26日(日) 13時30分～15時10分
場所	山梨県立文学館 講堂
入場者数	148名
参加者数	出演者数:18名

朗読部門では11月下旬に「朗読フェスティバル」を開催した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行して以降の開催だったため、感染予防対策の規制が緩和され、運営面での負担は随分軽くなった。

今回も子供から年配の方まで年齢の枠を超えて参加して下さったが、応募者が少なかった。十分な余裕を持って進行することができたが、広報の方法などを検討し、応募に繋げたい。

また、毎年参加して下さる子供の団体があるが、会場の雰囲気が大変盛り上がる。若い世代の応募に繋げることも「体験型事業」を含めて重要だ。

来場者からの反応は、概ね良いものが多かった。より沢山の方々に来場いただき、楽しんでいただけるよう周知の仕方を検討したい。





## 吹奏楽部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭 第62回山梨県吹奏楽祭
開催日	峡南・峡東 令和6年2月4日(日) 峡北 令和6年2月10日(土) 甲府・中巨摩・南都留 令和6年2月11日(日) 北都留 令和6年3月17日(日)
場所	身延町総合文化会館(峡南) 甲州市民文化会館(峡東) 東京エレクトロン韮崎文化ホール(峡北) YCC県民文化ホール(甲府) 桃源文化会館(中巨摩) ふじさんホール(南都留) 都の杜うぐいすホール(北都留)
入場者数	2500名
参加者数	出演団体(流派)数:120団体 出演(出展)者数:2000人

吹奏楽部門フェスティバルは、今年で62回目を数える山梨県吹奏楽祭を兼ねて開催している。以前は県全体1会場で実施していたが、現在では7会場に分かれて各地域で実施している(山梨県吹奏楽連盟の7つの支部がそれぞれ開催する形式)。小学校団体から一般団体まで参加しており、各団体の発表・交流の場として、また地域音楽文化への寄与の場として大きな役割を担っている。

本年度は新型コロナウイルス感染症流行前の形に戻り、全ての支部で開催することができた。120団体、約2000名の演奏者が集い、いずれの会場も大変な盛会となった。ソロ・アンサンブル・吹奏楽編成など様々な演奏形態で発表が行われ、選曲もクラシックからジャズ、ポップスまでと非常に幅広く、吹奏楽の魅力を十分に発揮する会となった。



## 演劇部門

事業名	第22回やまなし県民文化祭 演劇部門 「純喫茶ルネサンスものがたり」公演
開催日	令和5年11月19日(日) 14時開演
場所	笛吹市スコレーセンター
入場者数	約150名
参加者数	2団体 18名

今回の公演は、前回の「8月の少女たち」に続いて、劇団やまなみと劇団創作座との合同での部門別フェスティバルの公演でした。

作品は、劇団内の若手を中心に、先輩劇団員が脇を固める構成で新人劇団員の成長を目指し、台本づくりや役者の配置を自由にもらい、すすめた上演です。

特に新人達の不安を懸念しましたが、その心配もなく堂々と1時間を演じきりました。

物語は廃業寸前の喫茶店を2人の若い女性が中心に周りの人たちの力もかりてみごとに復興させるストーリーで、上演後のアンケートでは、「素晴らしい作品でした。」「出演者の声のバランスがとれていて、効果音や音楽が各場面とピッタリでした。」「全体の話の流れなど演劇には素人の自分でも楽しみながら引き込まれました。」といった声を頂くことができました。

演目 「純喫茶ルネサンスものがたり」  
原作 寺島節七  
脚本 石田 萌・是永 由衣子



## Ⅲ 体験型事業

### 朗読部門 (体験)

事業名	夏の朗読教室
開催日	令和5年8月6日(日) 10時～15時30分
場所	山梨県立図書館 イベントスペース
入場者数	35人
参加者数	指導者数:7名 参加者数:28名

朗読部門では毎年「夏の朗読教室」を開催している。青少年及び一般を対象とした事業で、朗読の基礎を学びながら作品を読む楽しさを知ってもらうこと。また、11月開催の「朗読フェスティバル」へ繋げることを目標にしている。

少人数制の勉強会だが、対象年齢の幅が広いのでテキストの選定に苦労がある。魅力あるテキストをいかに選ぶか。そして、指導する専門委員の力量が問われる。

今回は、高校二校から複数の生徒の参加があり大変頼もしく感じた。朗読は世代を問わず気軽に楽しむことができる分野であるため更に若い世代の参加を促すことは大切だ。

開催後のアンケート結果では、参加して良かったとの回答を多数頂いた。学習の成果を皆の前で発表することは、大変意味がある。

今後は、より充実した内容で実施できるよう工夫を重ねていきたい。



### 文学部門 (体験)

事業名	ワークショップ「あなたもエッセイを書いてみよう」
開催日	令和5年9月23日(土) 14時～16時
場所	甲府市総合市民会館3階 大会議室
入場者数	講師2名、参加者37名

文学部門のワークショップは、毎年テーマを変えて開催しています。今年度は、エッセイのワークショップ「あなたもエッセイを書いてみよう」を開催しました。特別講師として、作家の都築隆広氏をお招きし、エッセイの講評や参加者との意見交換、ミニ講演を行いました。

当日、講評を受けたエッセイの多くは、参加者が事前に提出したものです。自分の作品や自分に身近な方の作品が講評を受けるので、良い刺激を受けられたのではないのでしょうか。

参加者との意見交換も活発に行われました。講師によるプロ目線の回答は、非常に参考になるものばかりです。最後の講演でも、エッセイを書く上で押さえるべきポイントを端的にお話いただきました。

アンケート結果によると、多くの方に満足いただけたようです。中には、初めてエッセイに触れる方もいたようです。このワークショップを機会に「エッセイを書いてみよう」と、一人でも多くの方に思っただけであれば幸いです。





## 太鼓部門 (体験)

事業名	太鼓ワークショップ・参加促進事業
開催日	①9月3日 ②9月24日 ③10月8日 ④10月22日 ⑤11月12日、 各稽古 13時～15時 令和5年11月19日(日) 本番、12時30分～17時
場所	練習:天野宣音楽事務所 発表:YCC県民文化ホール 小ホール
参加者数	指導者数:1名 参加者数:10名 出演者数:10名

第22回やまなし県民文化祭・太鼓ワークショップは、パンフレットにて公募した県民10名の参加を得ました。天野 宣音楽事務所一階スタジオにて9月3日、9月24日、10月8日、10月22日、11月12日全5回の稽古を天野宣音楽事務所の師範代の山口 琳平氏の指導の下行い11月19日に開催された太鼓部門公演にてYCC県民文化ホール・小ホールで稽古の成果を発表した。パチの持ち方や太鼓を叩く時の姿勢など基礎から指導を受け曲を大舞台で大観衆を前に演奏できたことで日本伝統文化の和太鼓に親しみを持ち文化の継承の担い手として育っていただけるものと期待されます。



## 華道部門 (体験)

事業名	いけばな体験教室
開催日	令和5年10月15日(日) 11時～15時
場所	山梨県防災新館1階県民ひろば
参加者数	指導者数14名 参加者数90名

部門別華道展開催中の日曜日には華展会場の外(県民ひろば)に於いて『いけばな体験教室』を行いました。

申し込み方法は昨年と同様の反省点も踏まえQRコード・メール・FAXとし、受付期間も先着順から期間を20日間設定したところ幅広い世代、地域の方々の参加がありました。

毎年行っている体験型事業ですが新しい取組も行いました。花を長持ちさせる水揚げ方法を記載したメモ用紙を配布。子ども参加者は花材名を指導に当たった各流派代表に聞き書きとめていました。初めて触れる剣山・華道ばさみも上手に使いこなす素晴らしい学びの場になっていました。4時間約100名の体験でしたがスムーズに進行することができ、参加者の皆さんにも好評で大盛況でした。

今回の体験を通し『いけばな』への興味を持ち『いけばな』を生活の中で楽しむ方が増えることを願います。



## ハンドクラフト部門 (体験)

事業名	ポーセラーツ体験教室
開催日	令和5年11月18日(土) 10時～12時
場所	山梨県立美術館 講堂
参加者数	指導者2名 参加者数21名 (作品数24個)

自由な発想で楽しむ磁器絵付けのポーセラーツ。無色の白い磁器(コップ、皿)などを選び、転写紙を自由に選んで体験教室が始まりました。動物、花、魚などの転写シールを、器に貼り、配色、配列を考えながら自分らしいオリジナルの作品を作りました。子供からお年寄りまで幅広い年齢層の方が時を忘れて創作し、実用出来る器を楽しみました。その後で電気炉で焼いて、作品を仕上げました。時間の関係でその場での持ち帰りは出来ませんでしたが、作品が届くのを楽しみにしてもらい体験教室を終わりました。講師には、たくさんの材料を用意していただき、体験者からは「またやりたい」「おもしろかった」など喜んでもらい、手作りの楽しさに興味をもってくれました。その足でハンドクラフト展を観て、感動、「すごい」と一言。今回の体験会と公募展を美術館で同時にできたことは、大成功でした。今後も体験型事業を精力的に行うこと等により、ハンドクラフト部門のさらなる活性化に尽力していきたいです。



## 写真部門 (体験)

事業名	写真家 富塚晴夫写真講座
開催日	令和5年11月18日(土) 13時30分～16時
場所	山梨県立美術館 講堂
参加者数	指導者:1名 参加者数:65名

本年度の写真講座は、写真展審査をお願いした写真家富塚晴夫氏を招いて、入賞作品展示期間中の11月18日(土)13時30分から、第1部やまなし県民文化祭入賞作品より選んだ20点を中心に作品の講評をしていただき、休憩後の第2部では講師独自の演題「写真の宝庫山梨県と最新富士山情報」によりプロジェクターを用いて写された写真を見乍らの講演を戴きました。参加者の皆さん熱心に聞き入っており、質疑応答も行われて参加者にとって成果ある写真講座であったと思われます。





## 茶道部門 (体験)

事業名	茶道体験教室
開催日	令和5年12月10日(日) 10時～17時50分まで
場所	山梨県立文学館 素心菴
入場者数	指導者数:5名 参加者数:97名

茶道部門では素心菴に於きまして茶道体験教室を開催致しました。行事のチラシを県の文化課の皆様にて作成頂きありがたく思いました。当日は多数の方が参加され大盛況でありました。茶席の入り方、お辞儀の仕方、お菓子の取り方、戴き方、お菓子の運び方、お茶の点て方等々五名の講師の指導で行われました。短い時間ではございましたが出席の皆様大変興味をお持ちで一生懸命に畳の上でお稽古をなさいました。

今回の出席者は大人の方が多く、茶道に対して関心のあることに驚きました。お帰りの折「もっと早くこのような機会に恵まれたかったです」等と感想を頂きました。来年もまたこのような企画があると思いますので是非とお話いたしました。出席の皆様喜んでいただけたことを大変嬉しく思いました。この体験教室を通して茶道人口の広がり期待いたします。



## フラワーデザイン部門 (体験)

事業名	フラワーデザイン体験講習会
開催日	令和5年12月2日(土) ①10時30分～ ②13時30分～
場所	甲府市総合市民会館2F・遊亀公民館研修室
参加者数	参加者数:45名 事前受講指導者:6名

体験講習会をバージョンアップ・コロナ対策した上で単独開催としました。一般や過去の愛好者、学生、障害者や車椅子の方など広くフラワーデザインの素晴らしさを体験していただきたくチラシの作成・告知等準備を重ね、メイン指導者以外に各回6名の指導者を配置し万全を期し臨みました。すべての受講者が完成し、作品に感激しました…次の機会も知らせてほしいと感想を頂き、無事に終了することが出来ました。(風邪等で欠席を余儀なくされた方も後日に指導、受講者全員にお渡ししました。)

今後もフラワーデザインの魅力を多くの方々に広めるため、ご自身で体験できます、トレンドで質のよい講習会を開催したいと思っております。



# 部門別フェスティバル受賞者一覧

美術	書道	写真	文学
<b>県民文化祭賞</b> 佐々田 明子 (工芸)	<b>県民文化祭賞</b> 伊藤 雅一 (漢字)	<b>県民文化祭賞</b> 野中 光征 (カラー写真の部)	<b>県民文化祭賞</b> 熊王 日登美 (小説) 中沢 雄高 (詩) 雨宮 源吾 (児童文学) 松下 和幸 (エッセイ) 萩原 満治 (詩) 小澤 志保子 (短歌) 八代 菜美子 (俳句) 青柳 中子 (川柳)
	<b>準県民文化祭賞</b> 宮川 翠香 (漢字)	<b>準県民文化祭賞</b> 新津 富也 (ネイチャー写真の部)	<b>準県民文化祭賞</b> 鶴田 甲敬 (川柳) 五味 今夫 (川柳) 深澤 弘 (川柳) 萩原 満治 (川柳) 依田 なつ子 (川柳) 宮川 正徳 (川柳)
<b>優秀賞</b> 有野 雄治 (油彩) 小幡 東瑤 (漢字) 豊岡 陽子 (油彩) 鈴木 輝美 (かな) 後藤 文夫 (油彩) 柿崎 菜穂 (漢字) 渡邊 一仁 (油彩) 池田 淳華 (漢字) 渡邊 真由美 (油彩) 秋山 清翠 (一字書) 木村 隆雄 (油彩) 渡辺 繡香 (刻字) 中山 由季 (版画) 森澤 津留 (調和体) 加山 総子 (彫刻) 白須 煌汀 (漢字) 坂牛 光伸 (水墨・墨彩) 小林 耿舟 (一字書) 山下 邦久 (複合立体)	<b>優秀賞</b> 野中 光征 (モノクロ写真の部) 三澤 久 (モノクロ写真の部) 内藤 秀昭 (カラー写真の部) 小林 慎子 (カラー写真の部) 中澤 僚太 (カラー写真の部) 高津 秀俊 (ネイチャー写真の部) 八巻 長子 (ネイチャー写真の部) ジェンセン 伶奈 (小中高生の部) 篠原 諒世 (小中高生の部)	<b>優秀賞</b> 末澤 毬江 (小説) 鶴田 甲敬 (川柳) 沢島 一郎 (児童文学) 五味 今夫 (川柳) 松下 佐智子 (エッセイ) 深澤 弘 (川柳) 依田 邦恵 (短歌) 萩原 満治 (川柳) 佐藤 利枝子 (短歌) 依田 なつ子 (川柳) 荒居 千織 (短歌) 宮川 正徳 (川柳) 浅川 清 (短歌) 飯塚 益子 (短歌) 埜村 和美 (短歌) 木村 由紀子 (俳句) 渡邊 伊勢乃 (俳句) 赤池 一博 (俳句) 小俣 義人 (俳句) 櫻井 ずゑ子 (俳句) 太田 力三 (俳句)	

## 協賛事業一覧

事業名	主催団体	日時	会場
東誠三ピアノリサイタル&門下生によるコンサート	山梨ミュージックアカデミー	令和5年4月1日(土曜日)13時から16時	キングスウェル
第3期本公演オペレッタ<天国と地獄>	ミュージックシアター・グループ・トゥッティ	令和5年7月15日(土曜日)18時30分から 令和5年7月16日(日曜日)14時から	東京エレクトロン 韮崎文化ホール大ホール
6人の奏者のなないろアンサンブル Summer Concert	村松治美、塚原亜樹子、蓮井春菜、 河野陽古、雨宮真弓、堀越小枝	令和5年7月2日(日曜日)14時から16時	キングスウェル
第20回ザ・ぐんない舞踊フェスティバル	ザ・ぐんない舞踊連盟	令和5年9月24日(日曜日)10時30分から17時	上野原市文化ホール(もみじホール)
令和5年度(第11回)山梨県俳句大会	山梨県文化協会連合会、 山梨県俳句大会実行委員会	【募集】令和5年6月1日(木曜日)から7月20日(木曜日) 【表彰式】令和5年10月8日(日曜日)	【表彰・選評】 山梨県生涯学習推進センター交流室A・B
富士吉田梅若薪木能公演	富士吉田梅若薪木能実行委員会	令和5年8月5日(土曜日)17時30分から20時30分	北口本宮富士浅間神社
第9回やまなしオカリナふれあいコンサート	山梨オカリナ連盟	令和5年6月24日(土曜日)12時から16時	YCC県民文化ホール 小ホール
第75回記念 山梨書道協会展	山梨書道協会	令和5年12月6日(水曜日)9時から12月10日(日曜日)16時	山梨県立美術館 県民ギャラリーA・B・C
第44回山梨県高等学校芸術文化祭	山梨県高等学校芸術文化祭実行委員会	令和5年7月5日(水曜日)13時から 令和5年12月1日(金曜日)	県内各地
小倉百人一首かるた読み方講習会	一般社団法人全日本かるた協会 甲信越支部 山梨県かるた協会	令和5年6月24日(土曜日)13時30分から15時30分	びゅあ総合茶華道室
富士三曲協会定期演奏会	富士三曲協会	令和5年10月29日(日曜日)11時から16時	上野原市文化センター大ホール
第34回清里フィールドバレエ	清里フィールドバレエ実行委員会	令和5年7月27日(木曜日)19時から 令和5年8月7日(月曜日)21時	萌木の村野外特設劇場
第46回山梨県文化協会連合会・ 第22回山梨県川柳協会 川柳合同大会	山梨県文化協会連合会・山梨県川柳協会	令和5年9月3日(日曜日)	甲府市総合市民会館大会議室
第45回山梨県短歌大会	山梨県文化協会連合会	【募集】令和5年8月1日(火曜日)から9月29日(金曜日) 【表彰式】令和5年11月24日(金曜日)	【表彰・講演会】 山梨県生涯学習推進センター交流室A・B
甲府室内合奏団 演奏会	甲府室内合奏団	令和5年9月23日(土曜日)14時から17時	YCC県民文化ホール 小ホール
山梨岳風会15周年吟道大会	山梨岳風会	令和5年9月17日(日曜日)13時から17時	富士吉田市民会館 小ホール
山梨芸術劇場	山梨県芸術文化協会	令和5年7月から令和5年10月	県内各地
第21回山梨県シニアコーラス大会	山梨県シニアコーラス連盟	令和5年11月23日(木曜日・祝)13時から17時	笛吹市いちのみや桃の里ふれあい文化館
劇団銅鑼公演「いのちの花」	公益財団法人日本劇団協議会	令和5年9月20日(水曜日)18時30分から20時15分	ふじさんホール(富士五湖文化センター)
富士北麓・東部地域文化祭大正琴演奏発表会	富士北麓・東部地域文化祭実行委員会 大正琴部門	令和5年12月3日(日曜日)9時から17時	きずな未来館
2024年第34回 山梨県管打楽器ソロコンテスト	日本吹奏楽指導者協会関東甲信越支部 山梨県部会、山梨日日新聞社、山梨放送	令和6年1月27日(土曜日)9時30分から 令和6年1月28日(日曜日)19時	北社市須玉ふれあい館ホール
第17回みさとの秋まつり	みさとの秋まつり実行委員会	令和5年10月8日(日曜日)10時から15時 みさと展のみ、10月8日(日曜日)～15日(日曜日)	大門碑林公園 憩いの広場、 ひらしお源氏の館
第15回中央市文化祭	中央市文化協会	令和5年10月7日(土曜日)10時から 令和5年10月29日(日曜日)15時30分	【展示部門・朗読会】玉徳生涯学習館1階ロビー 【囲碁・将棋大会】田富総合会館2階 大ホール 【芸能発表】イオンタウン山梨中央セントラルコート
第42回山梨墨画院展	山梨墨画院	令和6年2月20日(火曜日)9時から 2月25日(日曜日)16時	山梨県立美術館 県民ギャラリーA・B



# 資料

## やまなし県民文化祭開催要綱

### 1 総 則

やまなし県民文化祭（以下「県民文化祭」という。）を開催し、運営するためにこの要綱を定める。

### 2 趣 旨

「くらしに文化が根づくやまなし」の実現をめざして、文化活動への参加と交流を促進し個性溢れる文化の創造のため、県民総参加の「県民文化祭」を開催する。

### 3 主 催

- ①山梨県・やまなし県民文化祭実行委員会
- ②運営に参画する開催地市町村

### 4 共 催

- ①山梨県芸術文化協会・山梨県文化協会連合会・山梨県高等学校文化連盟
- ②運営に参画する開催地市町村

### 5 事業内容

- ①総合フェスティバル  
ジャンルを越えた総合的な文化芸術の発表と相互交流を促進し、新しい文化芸術の創造を図る事業を実施する。
- ②部門別フェスティバル  
多様なジャンルの文化芸術活動者や団体に対し、発表の場を提供するとともに発表者と県民との交流を図る場とする。
- ③協賛事業  
文化施設・市町村・団体・企業・学校等が行う各種文化芸術事業を協賛事業として募集する。

### 6 開催期間

年間を通じて実施する。

### 7 開催地

県内各地域とする。

## やまなし県民文化祭協賛事業実施要項

### 1 趣 旨

やまなし県民文化祭実行委員会は、やまなし県民文化祭（以下「県民文化祭」という）開催期間中に、文化施設、市町村、団体、企業、学校等が行う文化芸術事業で、申請のあったもののうち、県民文化祭の趣旨に沿ったものを協賛事業とする。

### 2 協賛事業の条件

県民文化祭協賛事業の条件は、次のとおりとする。

- ① 県内で開催される各種文化芸術事業とする。
- ② 事業内容について  
事業の内容が次の各号にあうものとする。
  - ア 事業の内容が県民文化祭の趣旨に沿うもの
  - イ 事業が一般の人に公開されるもの
  - ウ 政治的・宗教的目的を有しないもの
  - エ 営利を主たる目的としないもの
  - オ 事業の実施にあたっては、事故防止対策、公衆衛生対策等に十分な措置が講ぜられるもの

### 3 事業経費

事業経費は、主催者の負担とする。

### 4 申請について

主催者は、当該事業が実施される期日1ヶ月前までに、「やまなし県民文化祭協賛事業参加申込書」により申請すること。

### 5 決定について

協賛事業の決定については、やまなし県民文化祭実行委員会会長が、当該事業について「協賛事業の条件」に基づいて決定し、主催者に文書で通知する。

### 6 実施報告

主催者は、当該事業が終了した後、速やかに「やまなし県民文化祭協賛事業実施報告書」を提出すること。

## 第22回やまなし県民文化祭実行委員

野口 英一 山梨県芸術文化協会  
宮澤 賢治 山梨県芸術文化協会  
大橋 洋之 山梨県芸術文化協会  
河野 通方 山梨県芸術文化協会  
矢崎 吼隆 山梨県文化協会連合会  
鈴木 章安 山梨県文化協会連合会  
横内 正史 山梨県文化協会連合会  
井上 肇 山梨県文化協会連合会  
秋山 すみ江 山梨県高等学校文化連盟  
一瀬 富房 (公財)やまなし文化学習協会  
窪田 包久 山梨県公民館連絡協議会  
渡邊 健二 山梨県博物館協会  
加藤 信一 山梨県公立文化施設協議会

小島 良一 山梨県市長会  
樋口 高子 山梨県女性団体協議会  
北村 幾三 (一社)山梨県老人クラブ連合会  
小松 秀夫 山梨県PTA協議会  
高橋 一永 (株)山梨日日新聞社  
成富 耕志 NHK甲府放送局  
水石 和仁 (株)テレビ山梨  
武井 功 (株)山梨放送  
横内 勝 学識経験者  
河野 公紀 山梨県教育委員会  
落合 直樹 山梨県観光文化・スポーツ部

## やまなし県民文化祭実行委員会規約

(名称)

第1条 本会は、やまなし県民文化祭実行委員会(以下「実行委員会」という。)と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、やまなし県民文化祭(以下「県民文化祭」という。)の企画・運営について協議し、県民文化祭の発展と充実を図ることを目的とする。

(組織)

第3条 実行委員会は、山梨県芸術文化協会・山梨県文化協会連合会・山梨県高等学校文化連盟・(公財)やまなし文化学習協会・山梨県公民館連絡協議会・山梨県博物館協会・山梨県公立文化施設協議会・山梨県市長会・山梨県町村会・報道関係・学識経験者・一般県民・山梨県教育委員会・山梨県のうちから知事が委嘱する委員(以下「実行委員」という。)をもって構成する。

(役員)

第4条 実行委員会に、次の役員を置く。

- (1) 会長1名
- (2) 副会長若干名
- (3) 監事2名

2 会長・副会長は、実行委員の互選とする。

3 監事は、会長が委嘱する。ただし、実行委員を兼ねることはできない。

(役員の職務)

第5条 会長は、実行委員会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、会長があらかじめ定めた順序により、その職務を代理する。

3 監事は、会計その他の事務を監査する。

(顧問及び参与)

第6条 実行委員会に顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3 顧問は、重要事項について会長の諮問に応じ、参与は、重要な会務に携わる。

(任期)

第7条 役員、実行委員、顧問及び参与の任期は1年とし、後任者が決定されるまで在任する。但し、再任を妨げない。

(構成)

第8条 実行委員会の会議は、会長、副会長及び実行委員をもって構成する。

(招集)

第9条 会議は、会長が招集する。

(議長)

第10条 会議の議長は、会長がこれにあたる。

(議決事項)

第11条 会議は、次の事項を議決する。

- (1) 県民文化祭の開催及び総合的な運営に関する事項
- (2) 規約に関する事項
- (3) 事業計画及び事業報告に関する事項
- (4) 予算及び決算に関する事項
- (5) その他重要な事項

(議決)

第12条 会議の議決は、出席実行委員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは

議長の決するところによる。

(会長の専決区分)

第13条 会長は緊急を要する事項について、専決処分をすることができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の会議において報告しなければならない。

(会議の公開)

第14条 会議は、公開とする。ただし、出席した実行委員の3分の2以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。

(会議録)

第15条 会長は、次に掲げる事項を記載した会議録を作成するものとする。

- (1) 会議の日時及び場所
- (2) 出席及び欠席した実行委員の氏名
- (3) 議決事項
- (4) 評決における賛否
- (5) その他必要な事項

2 会議録には、会長及び出席した実行委員のうちから、会長が指名した2名の実行委員が署名するものとする。

(運営委員会)

第16条 実行委員会は、開催要綱に示す事業を推進するため、運営委員会(以下「運営委員会」という。)を、置くものとする。

2 前各号に定めるもののほか、運営委員会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第17条 実行委員会の事務を処理するため、甲府市丸の内1-6-1 山梨県観光文化・スポーツ部文化振興・文化財課内に事務局を置く。

2 事務局に関し、必要な事項は、会長が別に定める。

(経費)

第18条 実行委員会の経費は、次に掲げるものをもって充てる。

- (1) 補助金
- (2) その他の収入

(会計期間)

第19条 実行委員会の会計期間は、4月1日から3月31日までとする。

(委任)

第20条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し、必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、平成12年11月1日から施行する。
- 2 平成12年度の実行委員の任期は、第7条1項の規定にかかわらず平成14年3月31日までとする。
- 3 この規約は、平成18年4月1日から施行する。
- 4 この規約は、平成22年5月1日から施行する。
- 5 この規約は、平成28年4月1日から施行する。
- 6 この規約は、令和2年4月1日から施行する。
- 7 この規約は、令和5年4月1日から施行する。



## 第22回やまなし県民文化祭運営委員

### 総合フェスティバル

委員長	大橋 洋之	書道部門専門委員長		
副委員長	成澤 千香子	洋舞部門専門委員長		
委員	宮澤 賢治	文学部門専門委員長	小石 晋	音楽部門専門委員長
	石戸谷 宗美	茶道部門専門委員長	渡邊 玲子	合唱部門専門委員長
			鈴木 逸明	邦楽部門専門委員
			河野 通方	演劇部門専門委員長
	保坂 博司	美術部門専門委員長	福嶋 孝顕	民謡民舞部門専門委員長
	守屋 喜彦	写真部門専門委員長	花柳 都紫宝	日舞部門専門委員長
	稲葉 一溪	華道部門専門委員長	横森 美保	朗読部門専門委員長
	奥山 幾代子	フラワーデザイン部門専門委員長	深澤 壽	太鼓部門専門委員長
	窪澤 三和	ハンドクラフト部門専門委員長	小松 獅劍	吟剣詩舞部門専門委員長
			仲田 太年	吹奏楽部門専門委員長

### 部門別フェスティバル

委員長	宮澤 賢治	文学専門委員長		
副委員長	渡邊 玲子	合唱専門委員長		
委員	石戸谷 宗美	茶道専門委員長	小石 晋	音楽部門専門委員長
			郷 晃輔	邦楽部門専門委員長
			河野 通方	演劇部門専門委員長
			成澤 千香子	洋舞部門専門委員長
	保坂 博司	美術部門専門委員長	福嶋 孝顕	民謡民舞部門専門委員長
	大橋 洋之	書道部門専門委員長	花柳 都紫宝	日舞部門専門委員長
	守屋 喜彦	写真部門専門委員長	横森 美保	朗読部門専門委員長
	稲葉 一溪	華道部門専門委員長	深澤 壽	太鼓部門専門委員長
	奥山 幾代子	フラワーデザイン部門専門委員長	小松 獅劍	吟剣詩舞部門専門委員長
	窪澤 三和	ハンドクラフト部門専門委員長	仲田 太年	吹奏楽部門専門委員長

## やまなし県民文化祭運営委員会規約

### (趣 旨)

第1条 この規約は、やまなし県民文化祭実行委員会規約第16条の規定により設置する運営委員会(以下「運営委員会」という。)の運営に関して、必要な事項を定めるものとする。

### (構 成)

第2条 運営委員会は、やまなし県民文化祭実行委員会会長が委嘱した委員(以下「運営委員」という。)をもって充てる。  
2 運営委員会は、総合フェスティバル、部門別フェスティバルにそれぞれ設けるものとする。

### (役 員)

第3条 運営委員会には、次の役員を置く。  
(1)委員長1名  
(2)副委員長1名  
2 委員長及び副委員長は、県民文化祭実行委員会会長が指名する者をもって充てる。  
3 委員長は、所掌事務を統括する。  
4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

### (所掌事務)

第4条 運営委員会は、次に掲げる事項を協議し、決定する。  
(1)実施計画の策定に関する事項  
(2)企画・演出に関する事項  
(3)会場計画に関する事項  
(4)その他事業の実施・運営に関する事項

### (任 期)

第5条 運営委員の任期は1年とし、後任者が決定されるまで在任する。但し、再任は妨げない。

### (開 催)

第6条 運営委員会は、必要に応じて委員長が招集し、運営委員会の議長は委員長がこれにあたる。  
2 議決は、出席委員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

### (事務局)

第7条 運営委員会の事務局は、甲府市丸の内1-6-1山梨県観光文化・スポーツ部文化振興・文化財課内に置く。

### (専門委員会)

第8条 運営委員会は、当該委員会で決定した事項を実施するため、総合フェスティバルの事業及び部門別フェスティバルの部門ごと、専門委員会を置く。  
2 専門委員会は、各部門の運営委員が推薦した委員(以下「専門委員」という。)をもって充てる。  
3 専門委員会には、専門委員の互選により、委員長1名、副委員長1名、会計責任者1名、その他実務に必要な役職を置く。

### 附 則

- 1 この規約は、平成12年11月1日から施行する。
- 2 この規約は、平成18年11月1日から施行する。
- 3 この規約は、平成22年5月11日から施行する。
- 4 この規約は、平成28年4月1日から施行する。
- 5 この規約は、令和2年4月1日から施行する。
- 6 この規約は、令和5年4月1日から施行する。

## やまなし県民文化祭実行委員会事務局

山梨県 観光文化・スポーツ部 文化振興・文化財課 文化芸術振興担当内

# 第22回やまなし県民文化祭部門別フェスティバル 専門委員

## 文学

宮澤 賢治  
井上 康明  
犬飼 和雄  
石黒 佐近  
小池 映二  
水木 亮  
入倉 文子

安藤 一宏  
雨宮 慶子  
三枝 浩樹  
古屋 正作  
河野 小百合  
白倉 一民  
保坂 敏子

長田 群青  
宮下 時雨  
井上 信太郎  
玉島 よ志子  
木村 源子  
浅川 昇

## 音楽

小石 晋  
藤巻 信哉  
神宮寺 淑子  
長田 美歩

鈴木 博雅  
田川 智美  
竹原 久美子  
野口 麻美

池山 洋子  
宮川 忠生  
鈴木 幸子

## 茶道

石戸谷 宗美  
鈴木 仙陽

鶴田 宗慶  
安井 窓源

市川 宗陽  
篠原 宗綾

## 合唱

渡邊 玲子  
渡邊 重敏  
中村 秀樹  
落合 美紀

渡辺 公男  
足達 勝子  
落合 節子  
青木 やす子

中 源博  
依田 貴司

## 美術

保坂 博司  
中野 宗夫  
赤池 宏己  
浅川 徹  
雨宮 千鶴  
雨宮 弥太郎  
安藤 峯子  
石田 泰道  
井上 香代子  
井上 ひろ美  
内海 仁美  
榎並 和春

風間 繁樹  
加島 查  
金井 幸則  
小林 宏  
小林 康浩  
五味 泰平  
齊藤 武士  
坂本 一行  
鈴木 博美  
須田 クニオ  
手塚 義彦  
中村 修二

早川 二三郎  
深沢 弘昭  
藤原 修身  
古屋 真知子  
堀内 洋子  
増田 実  
三浦 昌秀  
三井 正人  
向山 富士雄  
山本 承功  
吉田 光雄  
渡辺 勝俊

## 邦楽

郷 晃輔  
中田 一勢  
中村 麗声  
岡部 信童  
雨宮 洋子  
岡安 喜千菡

岡安 喜千智  
岡安 喜和  
貴音 美美和  
岡安 喜和広  
田中 かほる  
小沢 逸豪

村田 如仙  
鈴木 逸明  
鈴木 博延昭  
小林 珠澄勢  
高野 美千代  
田村 瞳声

## 演劇

河野 通方

## 洋舞

成澤 千香子  
深沢 由美

中村 元子  
三井 環

## 書道

大橋 洋之  
雨宮 春聲  
花田 龍溪  
矢崎 美咲  
笠井 魚山  
宮田 香彩

天野 白汀  
赤池 幽水  
杉本 蕙香  
樋川 朝風  
武井 由苑  
安部 光泉

上野 緑苑  
市川 擁舟  
高田 千恵  
土橋 雨邨  
渡辺 花溪

## 民謡民舞

福嶋 孝顕  
保坂 とみ子  
飯野 妙子  
扇寿 希洋友

矢野 和子  
井上 さかえ  
中澤 緑  
萩田 久子

小林 敏子  
藤田 淳三  
青柳 眞佐美  
藤本 純秀

## 日舞

花柳 都紫宝  
花柳 鶯香

花柳 左和博  
花柳 鶯代香

花柳 徳吉

## 写真

守屋 喜彦  
岩間 光明  
村松 貞夫  
磯部 寛  
松村 央男

高橋 峰雄  
安達 栄子  
志村 茂雄  
小林 守雄  
名取 高德

雨宮 正英  
早川 和枝  
丹澤 恒夫  
菊地 榮  
山本 賢治

## 朗読

横森 美保  
輿水 万里  
渡邊 さゆり

小澤 篤子  
清水 美智子  
永田 京子

中山 幸子  
猪狩 紀美子  
深澤 由美子

## 華道

稲葉 一溪  
高山 一能  
鶴田 一杏  
深澤 一黄  
砂田 鵬華

飯島 日光  
納富 聖華  
名取 春雲  
有泉 一金  
小俣 理典

山口 飛水  
伴野 一裕  
鈴木 千幸  
小川 一源

## 太鼓

深澤 壽  
石川 勉  
輿水 孝文  
伊藤 貴

北原 久  
市瀬 祐一  
中込 晴美  
飛田 邦秀

山口 琳平  
飯野 多恵子  
渡辺 正志  
石川 将也

## フラワーデザイン

奥山 幾代子  
小田切 美奈子  
安達 良枝

岡部 信弥  
鶴田 悠

西尾 芳樹  
足立 貴司

## 吟剣詩舞

小松 獅剣  
三千宗 美千啓  
山縣 清博  
萩田 飛翔  
木之瀬 星鶯  
風間 岳勲

遠藤 翠香  
秋山 徳美  
齋藤 錦鵬  
小松 獅優  
天野 岳庵  
山本 嘉悠

木之瀬 星謹  
深沢 翠治  
三千宗 美千枝  
中村 岳正

## ハンドクラフト

窪澤 三和  
大久保 明美  
保坂 初美  
三枝 ひとみ  
堀江 清美

藤岡 裕子  
飯塚 良子  
権守 たまき  
佐藤 順子  
額谷 巨美

松田 いづみ  
三井 ツヤ子  
望月 みはる

## 吹奏楽

仲田 太年  
古屋 雄人  
秋山 菜穂

小佐野 拓  
戸泉 宗太  
飯島 健太

秋山 尚克  
雨宮 雄貴  
堀内 昇二



## 第22回やまなし県民文化祭記録集

発行 令和6年3月

編集・発行

やまなし県民文化祭実行委員会

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1

山梨県観光文化・スポーツ部 文化振興・文化財課内

TEL 055 (223) 1797

FAX 055 (223) 1793

E-mail [bunka@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:bunka@pref.yamanashi.lg.jp)

印刷 株式会社 島田プロセス

第22回 ときめき・感動・くらしに文化

# やまなし 県民文化祭

— 2023 記録集 —

主催：山梨県 やまなし県民文化祭実行委員会

共催：山梨県芸術文化協会 山梨県文化協会連合会 山梨県高等学校文化連盟

問い合わせ先：やまなし県民文化祭実行委員会事務局 山梨県観光文化・スポーツ部文化振興・文化財課  
文化芸術振興担当 TEL.055-223-1797